

2.5 景観・文化財の状況

2.5.1 景観の状況

(1) 景観の概要

ア) 自然的景観

調査区域では、中央を木曾川が流れ、その両岸に比較的急峻な山地が連なり、滝や渓谷、河成段丘等の河川景観、高原等の山地景観が存在します。

木曾川右岸側には中央アルプス木曾駒ヶ岳がそびえ、西には樹齢三百年以上の木曾ヒノキの天然林などの自然豊かな環境が残り、木曾川左岸側を走るJRからの眺めはすばらしいものです。

イ) 歴史的景観

調査区域では、江戸時代において、中山道を通じて旅人が通っていたことから、妻籠宿周辺には数多くの歴史的・文化的な史跡や歴史的建造物などが存在し、温かく懐かしい旅情ある風景が、現在においてもそのままの姿で残されており、観光客の心を和ませる雰囲気があります。

(2) 主要な景観資源

調査区域の主な自然景観資源を表 2.2.17及び図 2.2.16に示します。

調査区域の景観資源としては、小野の滝や田立の滝、灰沢鉱泉、阿寺渓谷、赤沢自然林等の環境庁で指定されている良好な自然景観が25箇所あります。

また、指定はされていませんが、伊勢山、南木曾岳等の調査区域のシンボルとなるような山や、吉報の滝、六段の滝、雨現の滝、男滝・女滝等のすぐれた景観資源である4つの滝が存在します。

表 2.2.17 主要な景観資源

種 類	番号	名 称
滝	1	小野の滝
	2	隠れ滝
	3	吉報の滝
	4	六段の滝
	5	雨現の滝
	6	田立の滝
	7	男滝・女滝
噴泉	1	灰沢鉱泉
断崖・岩壁	1	木曾殿越
	2	伊勢山
	3	伊勢山山頂直下断崖
	4	伊勢山伊勢小屋沢谷頭
	5	伊勢山南斜面
	6	南木曾岳
渓谷	1	寢覚の床
	2	伊奈川渓谷
	3	阿寺渓谷
	4	田立の滝・柿其渓谷
非火山性高原	1	のぞきど高原
河成段丘	1	木曾川河岸段丘群（上松）
	2	木曾川河岸段丘群（野尻）
	3	辰野大城山地域
歴史的な自然環境	1	寢覚の床
	3	中央アルプス
	2	赤沢自然林
	4	田立の滝・柿其渓谷
	5	賤母自然林
	6	妻籠宿跡
	7	馬籠宿
名勝	1	寢覚の床
	2	田立の滝
	3	木曾八景与川の秋月
	4	鯉岩
	5	旧中山道男滝女滝
山	1	風越山
	2	糸瀬山
	3	横山
	4	飯盛山
	5	城山
	6	伊勢山
	7	南木曾岳
出典) 1. 「第1回自然環境保全基礎調査 長野県すぐれた自然図」 (昭和51年 環境庁) 2. 「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図」 (平成元年 環境庁) 3. 「改訂版 長野県の文化財」 (2000年3月 (財)八十二文化財団) 4. 各市町村の観光パンフレット		

図 2.2.16 主要な景観資源

(3) 主要な眺望景観

調査区域の主要な眺望景観を表 2.2.18及び図 2.2.17に示します。

調査区域には、表 2.2.17に示すように景観上すぐれている滝や渓谷、自然林などが豊富にあり、それらを観光するための登山道や遊歩道がいくつも設置されています。

特に中部北陸自然歩道と信濃路自然歩道は、木曾川に沿って調査区域を縦断しており、この地域の主要な遊歩道です。

これら遊歩道や登山道からの眺めは、いずれも素晴らしくこれらの道自体が主要な眺望点といえます。

表 2.2.18 主要な眺望景観

種 類	番号	名 称
峠	1	恋路峠
	2	根の上峠
	3	馬籠峠
登山道・遊歩道	1	空木岳登山道
	2	南駒ヶ岳登山道
	3	越百山登山道
	4	糸瀬山登山道
	5	中部北陸自然歩道
	6	歴史の道
	7	川西古道
	8	信濃路自然歩道

出典) 各町村の観光パンフレット

(4) 景観保全上の留意点

調査区域内の景観の状況をふまえ、景観保全上留意すべき点として以下の事項があげられます。

- ・当該地域は、渓谷等、河川に関連する景観資源の豊富な箇所であり、対象道路事業が河川周辺で実施されることをふまえ、詳細なルート位置の選定、道路構造の選定にあたっては、これらへの影響ができるだけ小さくなるよう配慮する必要があります。

図 2.2.17 主要な眺望景観

2.5.2 史跡・文化財の状況

調査区域には、「文化財保護法」(昭和 25 年 法律第 214 号)、「長野県文化財保護条例」(昭和 50 年 長野県条例第 44 号)又は各町村の条例により指定された重要文化財、重要伝統的建造物群保存地区、史跡名勝天然記念物、県宝(建造物)があります。

これらの指定状況及び位置は、1.7.1 の項目中の表 2.1.23、表 2.1.24、図 2.1.16 に示したとおりです。

調査区域には、重要文化財が 5 つ、重要伝統的建造物群保存地区が 1 つ、史跡が 10、名勝が 5 つ、天然記念物が 41、県宝(建造物)が 3 つあります。この他に有形文化財(県宝を含む)が多数存在しています。また、縄文時代から中世にかけての土器、集落跡などが多数分布しています。